

臨床検査専門科目	生体機能検査学					
		1単位	演習	平成30年度	後期	4年次
臨床検査学科	選択					
科目名	生体機能検査学特論 Advanced lecture of Clinical Physiology					
担当教員	◎堀江修 大野歩 曾山奉教					
目的	生体機能検査における最新の知見を理解する。これまでの授業を通じ医療現場での生体機能検査のまとめを行うとともに、代表的な生体機能検査の正常および異常所見の鑑別点について実例を挙げて理解することを目的とする。					
目標	生体機能検査全般において基本および応用知識を整理するとともに、臨床検査技師国家試験を目指す学生に説明できる知識や技術をまとめることができる。					
他科目との関連	生体機能検査学総論、生体機能検査学各論ⅠⅡⅢⅣ、生体機能検査学実習					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	筆記試験点数				1
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	最新 臨床検査学講座 生理機能検査学 (医歯薬出版)					
参考資料	標準臨床検査学 生理検査学画像検査学 (医学書院), 臨床病態学1 (ヌーベルヒロカワ)					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	講師の都合により、適宜順番・日程を入れ替えることがある。					